

# 企画書

G024C1036 村田悠月

G025C6004 百瀬優太

G024C1027 花田諒牙

G024C1028 渡嘉敷丈

G024C1010 原口蒼太

作成日	2026/5/20	会社名	原口 研究所
作成者	原口 蒼太、花田 諒牙、渡嘉敷 丈、 百瀬 優太、村田 悠月		
商品名	垂直位置情報プラットフォーム		
現状分析	<ul style="list-style-type: none"><li>・従来の GPS は平面 (X/Y 軸) に特化しており、屋内の階層や高さを特定する Z 軸の精度が低い。</li><li>・競合他社の巨大インフラ (基地局) を敷き詰める手法はコストが高く、日本国内での普及が進んでいない。</li><li>・災害時 (水害、地震等) において、逃げ遅れた人の「立体的な位置」が把握できず、救助の遅れが発生している。</li></ul>		
課題/ 問題点	<ul style="list-style-type: none"><li>・<b>技術的課題</b>： 既存の自治体向け防災システムに Z 軸データを組み込むための、安価で手軽な手段が存在しない。</li><li>・<b>ビジネス的課題</b>： 行政は実績のないシステムの直接導入を避ける傾向がある。</li><li>・<b>インフラ的課題</b>： 災害発生時に急増する API リクエスト (トラフィック)</li></ul>		

	<p>に耐えうる堅牢なシステム基盤が必要。</p>
<p>企画内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>提供価値</b>： スマートフォンなどの汎用センサーと、貸与する専用ビーコンを組み合わせ、センチメートル～階層レベルの Z 軸座標を算出し返却する SDK/API パッケージ。</li> <li>・ <b>展開戦略 (2 ステップ)</b>： <ul style="list-style-type: none"> <li>① 政府と契約実績のある大手 SIer (富士通や NEC など) の既存システム・防災アプリに SDK を技術提供 (OEM・連携) し、稼働実績を作る。</li> <li>② 大手 SIer との共同提案という形で、自治体 (BtoG) の防災インフラやスマートシティ案件へ横展開する。</li> </ul> </li> </ul>
<p>効果/ メリット</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>行政・市民のメリット</b>： 災害時、地下街や高層ビルで「何階にいるか」を正確に把握し、ピンポイントな避難誘導と迅速な救助 (人命保護) が可能になる。</li> <li>・ <b>提携企業 (SIer) のメリット</b>： 既存の防災パッケージと当社の API を組み合わせることで低コスト,強力な付加価値を生み出すことができる。</li> </ul>
<p>対象/ 予算</p>	<p>対象 (ターゲット)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>【初期パートナー】</b> 政府・自治体と契約実績のある大手 SIer (富士通、NEC など)、防災・安否確認 SaaS 企業</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>【エンドクライアント】</b> 地方自治体（防災・都市開発部門）、官公庁（消防庁、国土交通省など）、大型商業施設・物流倉庫を保有する民間企業</li> <li>● 初期導入費用：¥75,000 / 1 拠点 <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 内訳：専用ビーコン1セット（3～5台）の貸与費用、および初期設置</li> </ul> </li> <li>● 月額 API/SDK 利用料（サブスクリプション）：¥200,000 / 月（1 契約または 1 施設あたり）</li> </ul> <p>内訳：Z 軸座標取得 API のシステム利用ライセンス、データ保守、アップデート対応費。</p> <p><b>固定費一覧</b></p> <p>給料手当 ¥200,000×5 ¥1,000,000 法定福利費 ¥150,000 通信費 ¥25,000  雑費 ¥10,000 支払手数料 ¥40,000</p> <p>計¥1,190,000</p> <p><b>変動費一覧</b></p> <p>ビーコン代 1セット(3- 5台)につき 50,000 ¥</p>
備 考	